



～お知らせ～



来年の県民手帳を買ってきました。もう、そんな時期なんですね。新潟県民手帳を使い始めたのが2012年（平成20年）。その後はずっと愛用しています。1冊600円でお手頃です。まずは、1月、2月、3月の土日祝日に赤丸を書き込み、次に予定している仕事や旅行（マラソン）の予定を書き込みます。後は、机の引き出しに仕舞い新年まで待機です。さて、仕事の進捗は如何でしょうか。この時期、増工や減工の見込みも徐々に出てきてご苦労をおかけしますが、発注者の事業進捗に関わることなので柔軟な対応をお願いします。

日本における最近のコロナ新規感染者数の激減を「日本は摩訶不思議なサクセスストーリーを作り上げた」（10/18米タイム誌ウェブ版）「新型コロナ対策で驚くべき成功を成し遂げた」（10/13英ガーディアン紙）など海外メディアから注目を浴びるほど、新型コロナの新規感染者数が9月中旬から激減しています。10月18日に全国で新たに確認された感染者は今年最少の232人。8月20日に新規感染者が過去最多の2万5868人を記録したのが信じられないほどの下がり幅となっています。東京都では8月13日の5773人をピークに10月25日は今年最少の17人まで減り7月から続いた「第5波」はもはや収束したと言って過言ではない状況です。それでは、なぜ国内の感染者数が激減したのか、ころ。厚生労働省の専門家組織はその理由を分析しているが、明確な説明は出ていません。菅前総理は、記者会見で「ワクチン接種」が感染者減の要因だと強調したが、それに首をかしげる専門家は多く「ワクチン接種が進んでいることは要因として重要だが、それだけで感染者数減少の急激な速度は説明できない部分がある。」森田 長崎大学熱帯医学研究所長は、「ワクチンだけが原因であれば、東京よりも接種率が高い山口や佐賀など地方のほうが感染者数の減少率が大きいはず。それに、高齢者よりも接種率の低い、若い世代のほうが減少傾向は顕著。ワクチンの効果も重要だが、他の要因も考慮する必要がある。」ワクチンだけではなく、さらに別の要因が大きく作用し、日本ではコロナが消滅するに至ったとした説が、いまにわかに浮上しています。コロナウイルスの消滅の根拠として、いま注目されているのが、「エラー・カタストロフ（ミスによる破局）の限界」という理論。ドイツの生物物理学者でノーベル化学賞を受賞したマンフレート・アイゲンが71年に提唱したもので、「ウイルスは変異しすぎると自滅する」というもの。コネチカット大学医学部教授のサンドラ・ウェラー氏は、「ウイルスが増殖する際に複製のミスが起きると、変異株が生まれる。このとき、高い複製能力を持つ変異株が生まれてしまうと急速に感染が拡大する。しかし、増殖が速ければ、それだけ様々な複製のミスも起こり、その結果、ある一定の閾値（いきち：境界値）を超えると今度はそのウイルスの生存に必要な遺伝子までも壊してしまい、ウイルスが自壊する。」という説で、この考え方を「エラー・カタストロフの限界」と呼びそうです。もうしばらくの間、感染防止を徹底して下さい。先が見えてきたようです。

快挙です！富山支店のHさんが、先月31日の金沢マラソンと翌週7日の富山マラソンで連続サブスリー（フルで3時間を切る）を達成しました。「サブスリー」を達成するには1kを4分15秒、100mを25.5秒で走り続けなければなりません。市民ランナーの‘あこがれ’タイムです。ほかには「サブ3.5」、「サブフォー」、「サブファイブ」などを目標に多くのランナーが頑張っています。ちなみにHさんの今後の目標は、「サブエガ」！分かりますか？「エガ」とは、お笑い芸人の江頭2：50のこと。すごい！みんなで応援しましょう。

「3つの密を避けましょう！」 ①密室空間 ②密集場所 ③密接場面
「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない



○必見！ ホームページをリニューアルしました！ 新たな情報等があれば教えてください
www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！ 「Aipo」を活用しましょう